

## 【開催主旨】

木曾川上流河川事務所管内における施設能力を上回る洪水に対応するため、沿川の自治体や県、国等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するための取組方針のフォローアップ及び意見交換を実施した。

## 【開催概要】

開催日：平成29年5月11日（木）

会場：岐阜都ホテル 2階 ボールルームC

出席者：関市長、瑞穂市長、養老町長、神戸町長、安八町長、北方町長、坂祝町長、岐阜市、大垣市、美濃市、羽島市、美濃加茂市、各務原市、可児市、山県市、本巣市、郡上市、海津市、岐南町、笠松町、輪之内町、揖斐川町、大野町、池田町、岐阜県岐阜土木事務所長、岐阜県大垣土木事務所長、岐阜県揖斐土木事務所長、岐阜県美濃土木事務所長、岐阜県可茂土木事務所長、岐阜県郡上土木事務所長、岐阜地方気象台長、(独)水資源機構中部支社事業部長、木曾川下流河川事務所長、丸山ダム管理所、木曾川上流河川事務所長  
(来賓として岐阜県県土整備部河川課長)

議 事：①木曾川上流水防災協議会規約の一部改定について  
②木曾川上流水防災協議会における取り組みのフォローアップ等について  
③意見交換  
瑞穂市の取り組みについて（棚橋敏明 瑞穂市長）



第3回木曾川上流水防災協議会  
（岐阜ブロック）の開催状況

### 【瑞穂市長】

- ・ 瑞穂市は輪中のまちなので、災害の際はすぐに動ける水防団が必要不可欠であり、水防訓練等を実施し常に準備をしている。
- ・ JR東海道本線や一般国道21号と堤防が交差する箇所におけるアンダーパスが危険である。学校の近くや交通量の多い箇所については、災害の際のアンダーパスの交通規制情報についてメール等を活用した情報伝達体制を整えている。
- ・ 3月に開催した「水と緑のマルシェ」において、多くの市民に河川敷や遊水地を見学してもらい、遊水地の役割について認識してもらおうと共に、災害に対する意識の向上につなげることができた。
- ・ 災害の際には、リアルタイムの情報伝達が重要である。



### 【木曾川上流河川事務所長】

- ・ 過去の災害から年月が経過し、災害に対する意識の低下が懸念される。
- ・ 地域住民の災害に対する意識が非常に大事である。



中日新聞 平成29年5月12日（金）  
朝刊 22頁 岐阜県内版



住民意識向上など  
ブロック会で議論  
木曾川上流水防協  
木曾川、長良川、揖  
斐川の木曾三川流域の  
自治体などが水害対策  
を話し合う木曾川上流  
水防災協議会の岐阜ブ  
ロック会合が十一日、  
岐阜市内であった。  
昨年八月の会合で構  
成団体に課された二〇  
二〇年度までの取り組  
み方針の進捗状況を確認。  
洪水ハザードマップ  
策定の検討や水防団  
・消防団との合同巡視  
などが、同協議会に加  
盟する愛知、岐阜両県  
の二十四市町の大半で  
進んでいることなどが  
報告された。  
この日は県内の首長  
や土木事務所長ら五十  
人余りが出席。木曾川  
上流河川事務所の堀与  
志郎所長は「地域の皆  
さんの意識が大事。情  
報があっても自覚がな  
いといけない」と、水  
害に対する住民の意識  
向上を呼び掛けた。  
(杉浦正至)